

報道関係各位

一般社団法人日本オーディオ協会

平成25年度 第18回「音の匠」顕彰

一般社団法人日本オーディオ協会（会長 校條 亮治）は、音楽、オーディオ、レコードなど「音」の文化について多くの人々に認識していただき、また音楽とオーディオ産業発展のために、一般社団法人日本レコード協会、一般社団法人日本音楽スタジオ協会などと共に、1994年に12月6日を「音の日」と決めました。

この12月6日は発明王トーマス・エジソンが1877年、世界で初めて蓄音機「フォノグラフ」を発明した日であり、音を記録し再生するオーディオの誕生日ということになります。

「音の日」の記念行事の一つとして、日本オーディオ協会は1996年より音を通じて文化や生活に貢献した方々を「音の匠」として顕彰し、広く一般の方々に素晴らしい音の世界を認識していただく活動をつづけております。

第18回目にあたる本年度は、“VOCALOID”の開発・応用による「新たな、音楽及び音の表現方法により、新しい文化を創造」されたヤマハ株式会社 事業開発部 yamaha+推進室 VOCALOID プロジェクトリーダーの剣持 秀紀氏を「音の匠」として顕彰いたします。

平成25年度「音の匠」

剣持 秀紀（けんもち ひでき）氏

ヤマハ株式会社 事業開発部 yamaha+推進室
VOCALOID プロジェクトリーダー

以上

（添付資料）

1. 顕彰者プロフィール
2. 「音の匠」受賞者一覧

データ資料は報道関係者様専用ダウンロードサイトよりご利用いただけます。
アドレス <http://www.jas-audio.or.jp/press/>

